

公表

事業所における自己評価総括表（令和8年度）

○事業所名	ゴットオフライフ沖縄校(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2026年 4月 9日 ～ 2026年 4月 23日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	2026年 4月 27日 ～ 2026年 4月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれの得意分野や専門性を生かし合い、チームとしてより良い支援につなげること	ご利用者の小さな変化や情報も見逃さず、職員間で共有・検討することができている。	保護者のご利用者の事業所での様子を具体的に把握できるよう、連絡帳やSNS等を活用し、文章に加えて写真や動画などを用いた情報共有を行う。
2	専門職同士が連携を行いながら、日々の支援を行えること	ブラジルでの学習・医療・カウンセリング等の経験を持つ有資格者（心理・言語担当）が、専門性を生かした支援を行い、必要に応じて個別支援を提供している。	職員一人ひとりの専門性や知識の向上を図るため、定期的な勉強会や外部の専門家を招いた研修を実施している。
3	国籍や年齢を問わず、さまざまな背景を持つご利用者を受け入れる体制を整えている。	ポルトガル語・スペイン語・日本語などに対応できる職員や通訳が可能な職員を配置し、多言語でのコミュニケーションを支援している。ご利用者や保護者と職員との意思疎通を円滑にし、日常生活に関する支援や相談にも対応している。	保護者の受給者証取得をより円滑に支援するため、外国籍職員に対して制度や手続きに関する勉強会を実施する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育の場では、年齢や発達段階の違いに応じた支援の工夫が必要である。	ご利用者一人ひとりの発達段階や支援ニーズが異なるため	年齢や発達状況、個々の特性に応じたクラス編成を実現できるよう、今後も検討を進めていく。
2	ご家庭と事業所が連携し、支援内容を共有する取り組みをさらに充実させる必要がある。	保護者との面談がキャンセルとなる場合もあり、十分な情報共有の機会を確保できないことがあるため	保護者との情報共有や連携の必要性について理解を深めてもらえるよう働きかけていく。
3	外国籍の保護者への受給者証更新に関する情報提供や理解促進に課題がある。	更新手続きに必要な書類が日本語のみの場合もあり、外国籍の保護者への情報伝達に課題がある。	外国籍の保護者にも受給者証更新の必要性を理解してもらえよう、母国語の資料を用いるなど、分かりやすい情報提供を行う必要がある。